

事業名 ジュニアジオガイド講座（全3回）

[主催]	国立阿蘇青少年交流の家
[共催]	環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所 阿蘇火山博物館 阿蘇ジオパーク推進協議会
[後援]	熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会
[期 日]	第1回 令和4年8月21日（日）～8月22日（月）【1泊2日】 第2回 令和4年9月 3日（土）～9月 4日（日）【1泊2日】 第3回 令和4年9月23日（金）～9月25日（日）【2泊3日】
[活動場所]	国立阿蘇青少年交流の家及び阿蘇ジオパーク
[参加者]	小学5年生・6年生 24名
[講師]	第1回 永田 紘樹 氏（阿蘇ジオパーク推進協議会 事務局長） 池辺 伸一郎 氏（阿蘇火山博物館 館長） 実験担当ガイド5名（阿蘇ジオパークガイド協会） 第2回 大倉 敬宏 氏（京都大学大学院火山研究センター 教授） 児玉 史郎 氏（阿蘇ジオパークガイド協会 理事） 田中 利宜 氏（株式会社日本リモナイト） 飯田 映美 氏（環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所） 第3回 児玉 夏子 氏（阿蘇市役所まちづくり課 主事）
[班付ガイド]	全3回 矢野 均 氏 高嶋 信雄 氏 山口 裕子 氏 大西 佳代 氏（阿蘇ジオパークガイド協会）
[担当職員]	阿蘇青少年交流の家3名 法人ボランティア4名

全て同じ参加者

1 趣 旨

阿蘇ジオパークを地域教材として活用することで、阿蘇に関する知識を深めると同時に、阿蘇の魅力を発見しようとする意欲を育てる。また、問題解決学習をとおして、論理的思考力や自ら学ぶ意欲を育成することで、これからの生活に「ジュニアジオガイド講座」をとおして得た学びを生かしていこうとする実践意欲を育てる。

2 目 標

- (1) 参加した児童の全てが、ジュニアジオガイドとしてのガイド体験を実施することができる。
- (2) 事後アンケートで8割以上が「大観峰ガイド体験をしてよかった」と回答する。
- (3) 事後アンケートで8割以上が「またガイド体験をしてみたい」と回答する。

3 事業展開

(1) 研修プログラム

【第1回】8月21日（日）～8月22日（月）「阿蘇と出会う」

見学地：阿蘇火山博物館／杵島岳／阿蘇神社／国造神社／大観峰
講 話：阿蘇ジオパークについて

【第2回】9月 3日（土）～9月 4日（日）「阿蘇を感じる」

見学地：立野峡谷・新阿蘇大橋／京都大学大学院火山研究センター／白川水源
高森湧水トンネル／日本リモナイト／大観峰
講 話：阿蘇の火山について

【第3回】9月23日（金）～9月25日（日）「阿蘇を深める」

見学地：わいた温泉郷／大観峰／仙酔峡・鷺見平
講 話：阿蘇の魅力について

【第1回】



【阿蘇ジオパークについての講話】

【第2回】



【立野峡谷の説明】

【第3回】



【わいた温泉郷で地熱を測る児童】



【噴火実験の様子】



【火山研究センターでの様子】



【大観峰でのガイド案内】



【杵島岳からの様子】



【阿蘇黄土を熱する児童】



【仙酔峡の水を楽しむ児童】

4 成果と課題

(1) 成果

- 全員の児童から「大観峰ガイド体験を行ってよかった」という回答を得ることができた。
- 「今までは知らない人には挨拶もできなかったけれど、ガイド体験を通して自分から話しかけることができるようになった」「ジュニアジオガイド講座で得たことを生かして、自分の町の良いところを探してみたい」「これからは、学校での発表も積極的に行っていきたい」などの感想があり、事業全体で高い満足度がうかがえた。
- 各回のテーマを阿蘇と「出会う」「感じる」「深める」というように、3段階に分けて設定した。それぞれの段階で探検時のポイントを明確にして調べることで、順を追って大観峰ガイド案内までつなげることができた。

(2) 課題

- 探検個所が多数あり、1か所に使うことができる時間が短すぎた。そのため、班付ガイドが行う説明も十分に行えなかったり、じっくり探検できなかったりした。そのため、1日のスケジュールについては、1か所にもう少し時間をかけたり、目的を達成するための見学地を精査したりして、プログラムを組む必要がある。
- 参加児童がガイド原稿作成に悩んでしまうことがあったので、原稿作成の土台を提供してスムーズに取り組むことができるようにする必要がある。